

記入例

※新築や増築だけでなく、テナントの入れ替わりやレイアウト変更の際に必要な届出書です。
 ※届出書は2部（正副）作成し、使用開始の七日前までに届出してください。

様式第3号（第5条関係）
 （1枚目）

防火対象物使用開始届出書

届出日を記入

年 月 日

（宛先）箕面市消防長

所有者や占有者（賃借人）等、その事業所を使用しようとする者の住所、氏名、電話番号を記入し、押印してください。
 なお、法人の場合は、法人名及び代表者氏名、代表印としてください。

届出者

住所

氏名

電話

番

所在地	事業所の所在地及び電話番号 電話 番				
名称	事業所の名称（事業所の一部を所有、占有している場合は、事業所名に加えて、そのテナント等の名称 例：〇〇ビル 1階 〇〇屋〇〇店）				
主要用途	事業所の使用用途 例：物品販売店舗	防火管理者	防火管理者が選任されている場合に、氏名を記入してください。		
建築確認年月日	確認申請を要する場合に記入してください。	建築確認番号	確認申請を要する場合に記入してください。		
※消防同意年月日	記入しないでください。	※消防同意番号	記入しないでください。		
工事着手年月日	〇年〇月〇日	工事完了(予定)年月日	〇年〇月〇日	使用開始(予定)年月日	〇年〇月〇日
他の法令による許可	消防法以外の法令で許可を受けている場合のみ記入してください。 例：障害者自立支援法第〇条の許可		一部にテナント等が入居する場合は、占有面積〇〇㎡/延面積〇〇㎡を記入してください。		
敷地面積	〇〇㎡	建築面積	〇〇㎡	延面積	〇〇㎡
従業員数	最も多い時間帯の人数を記入してください。	公開時間又は従業員時間	〇時〇分～〇時〇分		
屋外消火栓、動力消防ポンプ、消防用水の概要	左記消防用設備等がある場合に記入してください。				
その他の必要な事項	※確認申請が出ている場合は記入不要です。 例：〇階テナント入居に伴う届出				
※受付欄	※経過欄				
記入しないでください。		記入しないでください。			

記入例

(2枚目)

用途	物品販売店舗			構造	鉄筋コンクリート造					
	種別	床面積 ㎡	用途	収容 人員	消防用設備等の概要				特殊消防 用設備等 の概要	
階別				消火設備	警報設備	避難設備	消火活動上 必要な施設			
該当する階を記入してください	○㎡	飲食店	○人	消火器 屋内消火栓設備	自動火災報知設備 非常警報（放送）設備	避難器具 誘導灯	連結送水管			
棟別概要 (第号)	階	一部の場合は、占有面積○㎡/床面積○㎡	○人	消防法施行規則第1条の3により算定した収容人員を記入してください (ご不明な場合は、届出時に受付担当者に確認してください) 例：物品販売店舗（4項）の場合 1、従業員の数 2、主として従業員以外の者の使用する部分（飲食・休憩用の部分（3.0㎡ごとに1人）+売場等その他の部分（4.0㎡ごとに1人）） ※いずれも端数切捨 収容人員＝上記1及び2の合計				各階ごとに設置されている消防用設備等を記入してください		
	階									
	階									
	階									
	階									
	階									
計	○㎡		○人							

- 備考
- この用紙の大きさは、それぞれ日本産業規格A4とすること。
 - 同一敷地内に2以上の棟がある場合には、棟ごとに「防火対象物棟別概要追加書類（様式第4号）」に必要な事項を記入して添付すること。
 - 法人にあつては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 建築面積及び延面積の欄は、同一敷地内に2以上の棟がある場合には、それぞれの合計を記入すること。
 - 消防用設備等の概要欄には、屋外消火栓、動力消防ポンプ及び消防用水以外の消防用設備等の概要を記入すること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。
 - 防火対象物の付近見取図、配置図、各階平面図及び消防用設備等の設計図書（消火器具、避難器具等の配置図を含む。）を添付すること。

付近見取図：事業所を含んだ付近の地図（住宅地図等）

配置図：敷地の形状、道路との関係を示し、敷地内建物の配置を真上から見た図面。

平面図：建物を水平方向に切って真上から見た図面。机や棚等のレイアウト及び消火器、自動火災報知設備の受信機、発信機、誘導灯等、設置されている消防用設備等の位置を記入してください。

ただし、スプリンクラー設備が設置されている場合のスプリンクラーヘッド、水噴霧消火設備等の噴霧ヘッド、自動火災報知設備の感知器及び非常警報（放送）設備のスピーカーの位置は記入不要です。